

分科会「生物多様性の米作り・里山バンキング」

開催日：2012年4月8日（日）13：30～16：20

会場：千葉県立中央博物館 講堂

循環型農業による生業の再生とともに都市住民と里山をつなぐコミュニティづくりや子どもたちの自然体験、自然観察活動の場形成を目指す実験場として、私たちは、印旛沼流域鹿島川の中流域に位置する千葉市若葉区谷当町の耕作放棄の谷津田や周辺の里山林において、さまざまな再生、整備の活動をスタートさせました。

不耕起栽培や冬期湛水の米作り、また湧き水の池の保全、さらに生物多様性の変化の継続的調査等について学び、農地・農業の多面的機能復活のキックオフにしたいとおもいます。

プログラム 資料代（300円）

- 13：30 開会（12：30 開場）
挨拶 佐藤聰子（NPO 法人バランス 21 谷当里山計画）
- 13：40 講演 「究極の田んぼ」
岩澤信夫（日本不耕起栽培普及協会会長）
- 15：00 休憩
- 15：10 報告1 「印旛沼干拓地での冬期湛水試験結果」
中村俊彦（千葉県立中央博物館・生物多様性センター）
- 15：40 報告2 「里山保全のための新しいメカニズム・里山バンキングと HEP」
—千葉市若葉区での活動を通して—
久喜伸晃（東京都市大学大学院田中章研究室）
- 16：00 意見交換
- 16：20 閉会（閉会后 17：00～交流会（実費）を予定しています。）

書籍紹介 （見本展示）



岩澤信夫著



岩澤信夫著



中村俊彦著

主催：NPO 法人バランス 21 谷当里山計画，里山シンポジウム実行委員会

後援：ちば・谷津田フォーラム，NPO 法人ちば里山センター，千葉日報社（申請中）

協力：千葉県立中央博物館，千葉県生物多様性センター，印旛沼流域水循環健全化会議，

東京都市大学田中章研究室，NPO 法人千葉まちづくりサポートセンター，「わたしの田舎」谷当工房

連絡先：NPO 法人バランス 21・TEL&FAX：：043-310-3300（佐藤）E-mail：hosikuzu@eos.ocn.ne.jp

<http://www.ytoplan21.com>

会場交通案内・お問い合わせ：043-265-3111（代表）<http://www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/>

● 電車・バスをご利用の場合

- (1) JR 千葉駅東口 7 番乗り場から京成バス [千葉大学病院] 「南矢作」行きで約 15 分、「中央博物館」バス停下車、徒歩 7 分
- (2) JR 千葉駅東口 2 番乗り場から千葉中央バス「中央博物館」行きで約 20 分、終点「博物館・文化ホール」バス停下車、徒歩 1 分
- (3) 京成千葉寺駅から徒歩約 20 分

(4) JR 千葉駅東口 6 番乗り場からはシティーバス「川戸都苑」行きで 15 分、「中央博物館」バス停下車、徒歩約 7 分

(5) JR 蘇我駅東口 2 番乗り場から小湊鉄道バス・千葉中央バス「千葉大学病院」行きで約 15 分、「中央博物館」バス停下車、徒歩約 7 分

● 自家用車をご利用の場合

京葉道路「松ヶ丘」IC 下車後約 5 分、中央博物館は「県立青葉の森公園」の北口近くにあります。